

## 授業科目

## 聴覚障害I演習

担当教員名 吉岡 豊	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

## 授業の概要

## &lt;概要&gt;

難聴児（者）の診断・評価・治療で欠くことのできない各種聴覚検査と聴能評価を実践を通して理解する。

## 授業の目的

聴覚障害の程度や種類、補聴器装用に必要な情報を得るために基本的な聴覚機能検査を理解し実施できる。

## 学習目標

## &lt;学習目標&gt;

- 1 聴覚検査のための予備知識を理解するとともに聴覚検査の理論と実際について理解する。
- 2 気導・骨導の純音聴力検査ができる。
- 3 各種聴力検査法を理解すると共に基本的聴覚検査を体験する。
- 4 語音聴力検査を実施し、その評価ができる。
- 5 各種聴覚検査の結果を判読できる。
- 6 聴覚障害児の検査法を体験し適応範囲を理解する。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	聴覚検査のための基礎知識と気導聴力検査の概要	講義（2コマ連続）	吉岡 豊 他
2	純音聴力検査（気導）の実施（A）	講義と演習	吉岡 豊
3	純音跳梁力検査（気導）の実施（B）	講義（2コマ連続）	吉岡 豊
4	純音聴力検査（気導骨導聴力検査とマスクング）とインピーダンスオージオメトリー	講義と演習（2コマ連続）	吉岡 豊
5	純音聴力検査（気導骨導聴力検査とマスクング）とインピーダンスオージオメトリーの実施（B）	講義と演習（2コマ連続）	吉岡 豊
6	純音聴力検査（気導骨導聴力検査とマスクング）とインピーダンスオージオメトリーの実施（A）	講義と演習（2コマ連続）	吉岡 豊
7	閾値上聴力検査（SISI）と語音聴力検査	講義と演習（2コマ連続）	吉岡 豊
8	閾値上聴力検査（SISI）と語音聴力検査（A）	講義と演習（2コマ連続）	吉岡 豊
9	閾値上聴力検査（SISI）と語音聴力検査（B）	講義（2コマ連続）	吉岡 豊
10	その他の閾値上聴力検査と自記オージオメトリー	講義と実演（2コマ連続）	吉岡 豊
11	選別聴力検査と乳幼児聴力検査	講義と実演（2コマ連続）	吉岡 豊
12	選別聴力検査と乳幼児聴力検査	演習（2コマ連続）	吉岡 豊
13	純音聴力検査（気導：A）	実技演習（2コマ連続）	吉岡 豊
14	純音聴力検査（気導：B）	実技演習（2コマ連続）	吉岡 豊
15	聴覚機能検査結果の判読	演習（2コマ連続）	吉岡 豊

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	聴覚検査の実際 改訂3版	日本聴覚医学会編 立木孝	南山堂	2009年	3,400円 +税	
	言語聴覚療法シリーズ5 改訂 聴覚障害I—基礎編	山田弘幸、佐場野 優一	建帛社 ISBN 978-4-7679- 4505-7 C3047	2007年	2,500円 +税	

参考書	よくわかるオーディオグラム	立木 孝、村井 和夫	金原出版	2003 年	2,800円 +税	
その他の資料						

#### 評価方法

レポート、テスト、実技能力をもって評価する。

#### 履修上の留意点

演習は2コマ連続で2グループに分けて行う。講義のみの場合は合同で2コマ続きの授業とする。

具体的には班分けおよび進行予定は演習初回に提示する。

各種検査ごとに検査の実施を義務づけるのでレポートは必ず提出すること。

#### オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：毎週水曜9:00～10:00

連絡先：yoshioka@nuhw.ac.jp